

事 務 連 絡

令和8年9月4日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 御中

厚生労働省医政局医事課

「医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業」に係る
アンケート調査について（依頼）

平素より医療関係職種の養成・確保に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度、厚生労働省医政局医事課では、今後の医療関係職種の養成・確保に関する施策の検討に資する基礎資料を得ることを目的とし「医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業」（以下、「本事業」）を実施しています。

本事業の背景には、医療と介護の複合ニーズを抱える高齢者の増加と生産年齢人口の減少、医療関係職種の養成校の定員充足率が近年低下傾向にあるなど、今後、医療関係職種の養成・確保がより一層課題となる現状が見込まれています。

こうした現状を受け、地域において必要な医療関係職種の安定的な養成・確保をするための方策を検討する「医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会」を令和8年5月より設置しています。

本事業は、地域において必要な医療が持続的に提供される体制整備の検討に向けた現状の医療関係職種の養成、就業継続、離職・復職、キャリア形成等の実態等について、医療従事者を対象とした調査を実施し、「医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会」等において活用させていただくことを想定しております。

今後、本調査結果を活用し当該検討会等において、各職種横断的に養成現場や医療現場、地域や都道府県・国等の関係者が一体となり対応・取組んでいくべき事項や、その枠組みについて検討を進めます。

御多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、本調査への協力について特段の御配慮をいただけるようお願い申し上げます。

記

調 査 名：「医療関係職種の安定的な養成・確保に関する検討会」での資料等に
活用する調査

調査期間：令和8年9月4日（金）～9月18日（金）17：00

調査対象：全国の医療関係職種の医療従事者

委託先・問い合わせ先

有限責任監査法人トーマツ

（厚生労働省「医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業」事務局）

担当：原田 泰佑／ほか事務局担当者

メール：iryoshokushu-chosa@tohmatsumatsu.co.jp

以上

担当

厚生労働省医政局医事課医事係

TEL：03-5253-1111（内線4196）

E-mail: curriculum@mhlw.go.jp

医療関係職種の有資格者の皆様へ

アンケート回答ご協力のお願い

厚生労働省医政局医事課では、「医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業」の一環として、医療従事者を対象としたアンケート調査を実施しております。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

I. 目的

今後 2040 年頃にかけて医療人材の養成・確保が一層の課題となる医療関係職種の方の資格取得や就業継続、離職・復職、キャリア形成、勤務環境等の実態・課題を把握し、今後の医療人材確保施策の検討に活用するもの

II. 調査対象

各医療関係職種の有資格者

III. 回答期限

令和 8 年 9 月 18 日（金）17:00

IV. 回答方式

Web アンケート

本調査は以下の 2 種類のアンケートで構成されており、両回答をもって回答完了となります。

パート 1（回答時間：15 分程度）

<https://forms.cloud.microsoft/e/Skgm3hFitQ>



パート 2（回答時間：15 分程度）

<https://forms.cloud.microsoft/e/S4fHqEM1Sg>



※パソコン、タブレット、スマートフォンからご回答いただけます。

※回答はお一人につき 1 回限りをお願いいたします。

V. 情報の取扱いについて

- ・本調査は任意のご協力をお願いするものであり、回答しないことによる不利益はありません。
- ・ご回答いただいた情報は、受託事業者である有限責任監査法人トーマツが厳重に管理し、本調査の統計データの作成及び厚生労働省における施策検討のために使用します。
- ・回答内容は統計的に処理し、個人が特定される形で公表することはありません。また、本調査の目的以外には使用いたしません。

問い合わせ先

有限責任監査法人トーマツ（厚生労働省「医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業」事務局）

担当：原田 泰佑／ほか事務局担当者

メール：iryoshokushu-chosa@tohmatu.co.jp

※本調査は、厚生労働省医政局医事課が実施する「医療関係職種の養成・確保に係る調査等支援事業」の一環として実施するものです。

分岐の設定オプション

回答の連携

1. 前半と後半の回答を紐付けるため、任意の回答連携キーワード（半角英数字8文字）を設定してください。
後半の調査でも、ここで設定したものと同一キーワードを入力していただきます。
※設定したキーワードは、後半の調査に回答するまで、お手元に控えてください。
※氏名、生年月日、職員番号、メールアドレスなど、個人を特定できる情報は使用しないでください。
入力例：kourou-iryou26 *

移動 [次へ](#)



移動 [次へ](#)



基本属性・現在の就業状況

2. あなたの性別を選択してください。*

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ 回答しない

3. あなたの年齢区分を選択してください。*

- ☐ 20歳未満
- ☐ 20～24歳
- ☐ 25～29歳
- ☐ 30～34歳
- ☐ 35～39歳
- ☐ 40～44歳
- ☐ 45～49歳
- ☐ 50～54歳
- ☐ 55～59歳
- ☐ 60～64歳
- ☐ 65歳以上

4. あなたが現在保有している学歴・学位・称号のうち、最も高いものを1つ選択してください。

※複数の学校を卒業している場合は、最も高い学歴・学位・称号に該当するものを選択してください。*

- ☐ 高等学校卒業
- ☐ 各種学校卒業
- ☐ 専門学校卒業（専門士）
- ☐ 専門学校卒業（高度専門士）
- ☐ 短期大学卒業（短期大学士）
- ☐ 高等専門学校卒業（準学士）
- ☐ 大学卒業（学士）
- ☐ 専門職大学卒業（学士（専門職））
- ☐ 大学院修了（修士・博士）

5. 現在、主に従事している医療関係職種を選択してください。*

- ☐ 看護師
- ☐ 保健師
- ☐ 助産師
- ☐ 理学療法士
- ☐ 作業療法士
- ☐ 言語聴覚士
- ☐ 診療放射線技師
- ☐ 臨床検査技師
- ☐ 臨床工学技士
- ☐ 視能訓練士
- ☐ 義肢装具士
- ☐ 救急救命士
- ☐ 歯科衛生士
- ☐ 歯科技工士
- ☐ その他

6. 現在主に従事している職種の資格を取得した年を回答してください。（西暦4桁）*

値は数値にする必要があります

7. 対象資格を取得後、その職種で初めて就職した年を回答してください。（西暦4桁）*

値は数値にする必要があります

8. 現在の就業状況を選択してください。*

- ☐ 対象資格を用いて就業中
- ☐ 対象資格をとくに用いずに就業中
- ☐ 現在は就業していない

9. 現在の主な勤務地の都道府県と市区町村を回答してください。（例：東京都新宿区、福岡県福岡市）*

10. 現在の主な勤務先の施設種別を選択してください。*

- ☐ 病院
- ☐ 診療所
- ☐ 介護保険施設・事業所
- ☐ 障害福祉施設・事業所
- ☐ 健診・検診機関
- ☐ 衛生検査所
- ☐ 義肢装具製作事業所
- ☐ 歯科技工所
- ☐ 医療機器関連企業
- ☐ 教育・研究機関
- ☐ 行政機関
- ☐ その他

11. 現在の主な就業形態を選択してください。*

- ☐ 常勤
- ☐ 非常勤・パート
- ☐ 派遣・契約
- ☐ 自営
- ☐ その他

移動 [次へ](#)



養成校から初職までの地域移動

12. 主な資格を取得するための学校養成所に入学する直前に居住していた都道府県と市区町村を回答してください。（例：東京都新宿区、福岡県福岡市）*

13. 現在主に従事している職種の資格を取得するために卒業した学校養成所の所在地について、都道府県と市区町村を回答してください。（例：東京都新宿区、福岡県福岡市）*

14. 現在主に従事している職種の資格を取得するために卒業した学校養成所の種別を選択してください。*

- ☐ 大学
- ☐ 専修学校（専門学校）
- ☐ その他

15. その学校養成所が所在する地域を選んだ理由を、すべて選択してください。*

- ☐ 出身地と同じ、または出身地に近かった
- ☐ 自宅から通学できた
- ☐ 希望する職種を学べる学校が所在していた
- ☐ 卒業後に就業したい地域だった
- ☐ 修学資金・奨学金の条件があった
- ☐ 特に地域を意識して選んでいない
- ☐ その他

16. 養成校を選んだ時点での将来の就職地域に関する考え方について、最も近いものを1つ選択してください。*

- | | |
|---|--|
| ☐ ①入学前から将来働きたい地域を決めており、その地域の養成校を選んだ | 移動 18. 対象資格を取得後、その職種で初めて就職した勤務... |
| ☐ ②入学前から将来働きたい地域を決めていたが、近場・地元の養成校を選んだ | 移動 17. 近場・地元に養成校がなかった場合、あなたが選択し... |
| ☐ ③入学前から将来働きたい地域を決めていたが、①でも②でもない養成校を選んだ | 移動 18. 対象資格を取得後、その職種で初めて就職した勤務... |
| ☐ ④入学前から将来働きたい地域は決めておらず、近場・地元の養成校を選んだ | 移動 17. 近場・地元に養成校がなかった場合、あなたが選択し... |
| ☐ ⑤入学前から将来働きたい地域は決めておらず、④ではない養成校を選んだ | 移動 18. 対象資格を取得後、その職種で初めて就職した勤務... |

17. 近場・地元に養成校がなかった場合、あなたが選択したと思われる進路として最も近いものを1つ選択してください。*

- ☐ 同じ職種の養成校へ進学する（養成校と同一県内）
- ☐ 同じ職種の養成校へ進学する（養成校と隣接県）
- ☐ 同じ職種の養成校へ進学する（養成校と隣接県以外）
- ☐ 他の医療関係職種を目指す
- ☐ 医療関係職種以外の進路を目指す
- ☐ 分からない

18. 対象資格を取得後、その職種で初めて就職した勤務先の所在地について、都道府県と市区町村を回答してください。（例：東京都新宿区、福岡県福岡市） *

19. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の施設種別を選択してください。 *

- | | |
|----------------------------------|---|
| ☐ 病院 | 移動 20. 対象資格を取得後、初めて就職した病院の病床規模... |
| ☐ 診療所 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 介護保険施設・事業所 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 障害福祉施設・事業所 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 健診・検診機関 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 衛生検査所 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 歯科技工所 | |
| ☐ 義肢装具製作事業所 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 医療機器関連企業 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 教育・研究機関 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ 行政機関 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |
| ☐ その他 | 移動 22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を... |

20. 対象資格を取得後、初めて就職した病院の病床規模を選択してください。 *

- ☐ 20～99床
- ☐ 100～299床
- ☐ 300床以上

21. 対象資格を取得後、初めて就職した病院の主な病床機能を選択してください。*

- ☐ 高度急性期
- ☐ 急性期
- ☐ 回復期
- ☐ 慢性期
- ☐ 複数機能
- ☐ 分からない

22. 対象資格を取得後、初めて就職した勤務先の地域を選んだ理由を、すべて選択してください。
※「特に地域を意識して選んでいない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 卒業した学校養成所と同じ、または学校養成所に近い地域だった
- ☐ 自宅と同じ、または自宅に近い地域だった
- ☐ 実習先または実習先と関係のある施設だった
- ☐ 希望する施設・就業領域が特に希望に合っていた
- ☐ 修学資金・奨学金の条件があった
- ☐ 給与・福利厚生が特に希望に合っていた
- ☐ 勤務時間・休日等の勤務条件が特に希望に合っていた
- ☐ 特に地域を意識して選んでいない
- ☐ その地域にしか求人がなかった
- ☐ その他

移動 [次へ](#)



転職・職場移動の状況

対象資格を取得後、勤務先を変更した経験がある場合、勤務した勤務先について、勤務した順に回答してください。
勤務先を変更した経験がない場合、または該当する勤務先がない場合は、該当する設問を回答せず、次のセクションへ進んでください。

23. 対象資格を用いた仕事で、勤務先を変えた回数を選択してください。*

- ☐ 0回
- ☐ 1回
- ☐ 2回
- ☐ 3回
- ☐ 4回
- ☐ 5回
- ☐ 6回
- ☐ 7回
- ☐ 8回
- ☐ 9回
- ☐ 10回
- ☐ 10回以上

移動 5. 他職種の資格取得の意向

24. 対象資格を用いた仕事における直近の転職について、勤務先を変えた理由を、すべて選択してください。*

- ☐ 勤務時間・夜勤・休日等の勤務条件
- ☐ 給与・処遇
- ☐ 業務量や心身の負担
- ☐ 仕事内容・専門領域
- ☐ キャリアアップ
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ ハラスメント
- ☐ 育児・介護・家庭事情
- ☐ 自身の病気・けが・健康上の理由
- ☐ 配偶者・家族の転勤や転居
- ☐ 勤務先の閉鎖・雇用契約終了等
- ☐ その他

25. 直近の転職前に勤務していた勤務先で、主に担当していた診療・業務領域を回答してください。*

26. 直近の転職前に勤務していた勤務先での就業形態を選択してください。*

- ☐ 常勤
- ☐ 非常勤・パート
- ☐ 派遣・契約
- ☐ 自営
- ☐ その他

27. 対象資格を取得後、勤務した勤務先の所在地を、勤務した順に都道府県及び市区町村まで入力してください。

例：

東京都新宿区

神奈川県横浜市

埼玉県さいたま市浦和区

※1行目を1つ目の勤務先、2行目を2つ目の勤務先として扱います。

※初めて就職した勤務先を1として、最大11か所目の勤務先まで入力してください。

※1つ目の勤務先については前の設問でも回答していますが、勤務先の履歴を勤務順に把握するため、改めて入力してください。*

28. 対象資格を取得後に勤務した勤務先の施設種別を、前問と同じ勤務先の順番で、以下の番号により1行ずつ入力してください。

01. 病院
02. 診療所
03. 介護保険施設・事業所
04. 障害福祉施設・事業所
05. 健診・検診機関
06. 衛生検査所
07. 歯科技工所
08. 義肢装具製作事業所
09. 医療機器関連企業
10. 教育・研究機関
11. 行政機関
12. その他

例：

01

02

05

※1行目を1つ目の勤務先、2行目を2つ目の勤務先として扱います。

※前問に入力した勤務先数と同じ数を入力してください。

※1つ目の勤務先については前の設問でも回答していますが、勤務先の履歴を勤務順に把握するため、改めて入力してください。*

29. 各勤務先での勤続期間を、勤務した順に入力してください。

※勤務先1は、初めて就職した勤務先を指します。

※実際に勤務した勤務先まで回答し、それ以降の勤務先については「該当しない」を選択してください。

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	分からない・覚えていない	該当しない
勤務先1	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先2	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先3	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先4	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先5	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先6	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先7	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先8	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先9	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先10	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勤務先11	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

30. 2つ目以降の勤務先について、一つ前の勤務先と同一法人であるかを、勤務した順に入力してください。

※勤務先1は、初めて就職した勤務先を指します。

※実際に勤務した勤務先まで回答し、それ以降の勤務先については「該当しない」を選択してください。

	同一法人	同一法人ではない	わからない	該当しない
勤務先2	☐	☐	☐	☐
勤務先3	☐	☐	☐	☐
勤務先4	☐	☐	☐	☐
勤務先5	☐	☐	☐	☐
勤務先6	☐	☐	☐	☐
勤務先7	☐	☐	☐	☐
勤務先8	☐	☐	☐	☐
勤務先9	☐	☐	☐	☐
勤務先10	☐	☐	☐	☐
勤務先11	☐	☐	☐	☐

他職種の資格取得の意向

31. 現在保有している資格とは別に、他の医療関係職種の資格を取得したいと思いますか。*

- | | |
|--|--|
| ☐ 具体的に取得したい資格がある | 移動 32. 取得したい、または関心のある医療関係職種の資格を... |
| ☐ 取得に関心がある | 移動 32. 取得したい、または関心のある医療関係職種の資格を... |
| ☐ 今のところ取得したいとは思わない | 移動 34. 医療関係職種の資格取得を目指す場合、あなたにと... |
| ☐ 分からない | 移動 34. 医療関係職種の資格取得を目指す場合、あなたにと... |

32. 取得したい、または関心のある医療関係職種の資格を、すべて選択してください。

※「具体的な職種は決まっていない」を選択する場合は、ほかの選択肢を選択しないでください。*

- ☐ 看護師
- ☐ 保健師
- ☐ 助産師
- ☐ 理学療法士
- ☐ 作業療法士
- ☐ 言語聴覚士
- ☐ 診療放射線技師
- ☐ 臨床検査技師
- ☐ 臨床工学技士
- ☐ 視能訓練士
- ☐ 義肢装具士
- ☐ 救急救命士
- ☐ 歯科衛生士
- ☐ 歯科技工士
- ☐ 具体的な職種は決まっていない

33. 他の医療関係職種の資格を取得したい、または取得に関心がある理由を、すべて選択してください。*

- ☐ 専門職として、多様な能力・知識を得たい
- ☐ 転職・再就職に役立てたい
- ☐ 収入や処遇の向上を期待している
- ☐ 現在の職種を続けることに不安がある
- ☐ 複数の資格を組み合わせたい
- ☐ 地域や勤務先で必要とされている
- ☐ 以前から関心のある職種である
- ☐ 働く中でその職種のやりがいや魅力を感じた
- ☐ その他

34. 医療関係職種の資格取得を目指す場合、あなたにとって望ましい養成課程の受講形態はどちらですか。*

- ☐ 働きながら学べる課程
- ☐ 仕事を辞めて学業に専念し学ぶ課程

35. 医療関係職種の国家試験の受験資格取得に必要な学修について、受講しやすいと思う受講形態をすべて選択してください。*

- ☐ オンデマンド授業を活用し、主に朝や夜間に受講したい
- ☐ オンデマンド授業を活用し、休日を中心に受講したい
- ☐ リアルタイムのオンライン授業（ライブ配信）を朝や夜間に受講したい
- ☐ 平日昼間に学校へ通学し、対面授業を受講したい
- ☐ 平日夜間に学校へ通学し、対面授業を受講したい
- ☐ 土日を中心に学校へ通学し、対面授業を受講したい
- ☐ オンデマンド授業と対面授業を組み合わせた形で受講したい

36. 新たに医療関係職種の国家試験の受験資格取得を目指す場合、1年目のオンデマンド授業等を中心とした学習期間において、1週間当たり受講可能な授業時間として最も近いものを選択してください。

※授業時間以外に、ご自身の判断で予習・復習を行う時間があることを想定してください。*

- ☐ 週4時間程度
- ☐ 週9時間程度
- ☐ 週13時間程度
- ☐ 週18時間程度

37. 新たに医療関係職種の国家試験の受験資格取得を目指す場合、2年目前半の実技・学内実習を中心とした対面授業期間において、1週間当たり受講可能な授業時間として最も近いものを選択してください。

※授業時間以外に、ご自身の判断で予習・復習を行う時間があることを想定してください。

※休業や就業の制限も視野に入れて学習することを想定してください。

※2年目後半には、病院等の実習施設における臨床実習期間が予定されていることを想定してください。*

- ☐ 週24時間程度
- ☐ 週32時間程度
- ☐ 週40時間程度
- ☐ 週48時間程度

38. 新たに医療関係職種の国家試験の受験資格を取得する場合、どのような養成課程で学びたいですか。すべて選択してください。*

- ☐ より短期間で資格取得を目指せるよう、修業年限を短縮したコース
- ☐ 働きながらも学修を進められるよう、学校で一律に実施する授業の時間数を減らし、オンデマンド授業で学べるコース
- ☐ 学修経験や知識の個人差が大きい部分は、教員の支援の下で自主学修などの効率的な学修形態も活用しながら、授業総時間数を減らしたコース
- ☐ 働きながらも受講しやすいよう、夜間・土日などの時間帯に開講するコース
- ☐ 個々の理解度に応じて、学習の進度や順序を調整できるコース
- ☐ 自主学習に重きを置き、到達度に応じて教員の支援を受けられるコース
- ☐ 学修経験や知識の個人差にかかわらず、通常どおり、現役生と同じ修業年限や総授業時間数で学習するコース
- ☐ その他

39. 他の医療関係職種の資格を取得する際の障壁（修学期間中の収入減、仕事や家事・育児・介護等との両立困難）をなくすために必要だと思うことを全て選択してください。

※「特に障壁はない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 修学期間を一定程度短くする
- ☐ 学費・教材費等の費用負担の補助
- ☐ 通学できる距離に学校等の学修環境が整備される
- ☐ 希望する学び方（夜間・通信・オンライン等）を増やす
- ☐ 既修得単位や保有資格が認められやすくする
- ☐ 入学要件をわかりやすくする
- ☐ 取得後の仕事や処遇に関する情報をわかりやすくする
- ☐ 勤務先の理解・支援がある
- ☐ 特に障壁はない
- ☐ その他

40. 現在、医療関係職種の資格を複数保有していますか。*

- ☐ 保有している
- ☐ 保有していない

移動 41. 現在主に従事している職種以外に保有している医療...

移動 42. 現行の修学期間より短い期間や、オンデマンド授業を...

41. 現在主に従事している職種以外に保有している医療関係職種の資格を、すべて選択してください。*

- ☐ 看護師
- ☐ 保健師
- ☐ 助産師
- ☐ 理学療法士
- ☐ 作業療法士
- ☐ 言語聴覚士
- ☐ 診療放射線技師
- ☐ 臨床検査技師
- ☐ 臨床工学技士
- ☐ 視能訓練士
- ☐ 義肢装具士
- ☐ 救急救命士
- ☐ 歯科衛生士
- ☐ 歯科技工士
- ☐ その他

42. 現行の修学期間より短い期間や、オンデマンド授業をできるだけ活用した、働きながらも学びやすい別の医療関係職種の国家試験の受験資格の取得を目指すコースが設けられる場合、どこで学ぶことを希望しますか。*

- ☐ 大学
- ☐ 専修学校（専門学校）
- ☐ どちらでもよい
- ☐ このようなコースで学びたいとは思わない
- ☐ 分からない
- ☐ その他

43. 前問で選択した回答について、その理由を差し支えない範囲で記入してください。*

分岐の設定オプション

回答の連携

- 前半の調査で設定した回答連携キーワード（半角英数字8文字）を入力してください。
※前半の調査と同じキーワードを入力してください。
※キーワードを忘れた場合は「不明」と入力して次に進んでください。
入力例：kourou-iryou26 *

移動 [次へ](#)



実習を受けた本人の評価

- 養成課程で受けた臨床実習は、就職後の実際の業務に役立つ実践的な実習（※）だったと思いますか。
（※）実践的な実習：指導者の監督下で、実際の医療提供プロセスに主体的に参画する実習 *

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------|---|
| ☐ 非常にそう思う | 移動 次へ | ▽ |
| ☐ ある程度そう思う | 移動 次へ | ▽ |
| ☐ あまりそう思わない | 移動 次へ | ▽ |
| ☐ まったくそう思わない | 移動 次へ | ▽ |
| ☐ 分からない・覚えていない | 移動 次へ | ▽ |

3. 養成課程で受けた臨床実習について、不足していたと感じる点を、すべて選択してください。

※「不足を感じた点はない」または「分からない・覚えていない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 実際の業務や医療提供プロセスへの参加
- ☐ 基本的な手技・機器操作の経験
- ☐ 患者・利用者とのコミュニケーション
- ☐ 多職種との連携
- ☐ 安全管理・感染対策
- ☐ 記録・報告・情報共有
- ☐ 緊急時・想定外の状況への対応
- ☐ 実習後の振り返り・フィードバック
- ☐ 実習時間・日数
- ☐ 経験できる施設・領域の幅
- ☐ 不足を感じた点はない
- ☐ 分からない・覚えていない
- ☐ その他

4. 対象資格を取得後、初めて就職した際に、困ったことを、すべて選択してください。

※「特に困ったことはなかった」または「分からない・覚えていない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 基本的な知識・技術に自信がなかった
- ☐ 実際の手技・機器操作に慣れていなかった
- ☐ 患者・利用者への対応が難しかった
- ☐ 多職種との連携・コミュニケーションが難しかった
- ☐ 記録・報告・情報共有の方法が分からなかった
- ☐ 業務の優先順位付けや時間管理が難しかった
- ☐ 緊急時・想定外の状況への対応が難しかった
- ☐ 勤務先独自のルール・業務手順への適応が難しかった
- ☐ 仕事量・勤務時間・夜勤等の勤務負担が大きかった
- ☐ 相談・指導を受けられる体制が十分でなかった
- ☐ 特に困ったことはなかった
- ☐ 分からない・覚えていない
- ☐ その他

移動 [次へ](#)



新人研修を受けた本人の評価

5. 対象資格で初めて就職した時点のご自身の状態を、能力領域ごとに評価してください。*

	一人では対応できなかった	多くの支援があれば対応できた	一部の支援があれば対応できた	概ね一人に対応できた	十分に一人に対応できた	経験していない・評価できない
基本的な手技・機器操作	☐	☐	☐	☐	☐	☐
患者・利用者とのコミュニケーション	☐	☐	☐	☐	☐	☐
多職種との連携	☐	☐	☐	☐	☐	☐
安全管理・感染対策	☐	☐	☐	☐	☐	☐
記録・報告・情報共有	☐	☐	☐	☐	☐	☐
緊急時・想定外の状況への対応	☐	☐	☐	☐	☐	☐
業務の優先順位付け・時間管理	☐	☐	☐	☐	☐	☐

6. 対象資格での入職後に、新人研修（※）を受けた経験がありますか。

※新人研修：入職後おおむね1年の間に受けた研修（以下同じ。）*

☐ はい

移動 [7. 対象資格で初めて就職した勤務先で受けた新人研修の...](#)

☐ いいえ

移動 [4. 離職・復職の経緯](#)

7. 対象資格で初めて就職した勤務先で受けた新人研修の内容を、すべて選択してください。*

- ☐ 集合研修（講義）
- ☐ 演習・シミュレーション
- ☐ 実技研修
- ☐ OJT（業務を通じた指導）
- ☐ 他部署・他施設での研修
- ☐ 外部研修への参加
- ☐ 自己学習用教材の提供
- ☐ 定期的な面談・振り返り
- ☐ 分からない・覚えていない
- ☐ その他

8. 新人研修を受けたおおよその期間を選択してください。*

- ☐ 1週間未満
- ☐ 1週間以上1か月未満
- ☐ 1か月以上3か月未満
- ☐ 3か月以上6か月未満
- ☐ 6か月以上1年未満
- ☐ 1年以上
- ☐ 期間は定められていなかった

9. 新人研修は、実際の業務を行うために必要な内容として十分だったと思いますか。*

- ☐ 十分だった
- ☐ 概ね十分だった
- ☐ やや不十分だった
- ☐ 不十分だった

10. 新人研修について、不足していたと感じる点を、すべて選択してください。

※「不足していた点はなかった」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 基本的な知識の確認
- ☐ 基本的な手技・機器操作
- ☐ 患者・利用者とのコミュニケーション
- ☐ 多職種との連携
- ☐ 安全管理・感染対策
- ☐ 記録・報告・情報共有
- ☐ 緊急時・想定外の状況への対応
- ☐ 勤務先独自のルール・業務手順
- ☐ 業務の優先順位付け・時間管理
- ☐ 指導者からの振り返り・フィードバック
- ☐ 研修期間・研修時間
- ☐ 個人の習熟度に応じた内容
- ☐ 不足していた点はなかった
- ☐ その他

11. 入職後の新人研修を終えた時点のご自身の状態を、能力領域ごとに評価してください。*

	一人では対応できなかった	多くの支援があれば対応できた	一部の支援があれば対応できた	概ね一人では対応できた	十分に一人では対応できた	経験していない・評価できない
基本的な手技・機器操作	☐	☐	☐	☐	☐	☐
患者・利用者とのコミュニケーション	☐	☐	☐	☐	☐	☐
多職種との連携	☐	☐	☐	☐	☐	☐
安全管理・感染対策	☐	☐	☐	☐	☐	☐
記録・報告・情報共有	☐	☐	☐	☐	☐	☐
緊急時・想定外の状況への対応	☐	☐	☐	☐	☐	☐
業務の優先順位付け・時間管理	☐	☐	☐	☐	☐	☐

移動 [次へ](#)



離職・復職の経緯

12. 対象資格を用いた仕事を離職（自主退職等）した後、同じ職種に復職した経験がありますか。*

☐ はい

移動 [13. 直近の復職の前に、対象資格を用いた仕事を離職し...](#)

☐ いいえ

移動 [7. 現在の離職意向と就業継続](#)

☐ 離職したことはない

移動 [7. 現在の離職意向と就業継続](#)

13. 直近の復職の前に、対象資格を用いた仕事を離職した年を、西暦4桁で回答してください。*

値は数値にする必要があります

14. その離職後、対象資格を用いた仕事に復職するまでの期間を選択してください。*

☐ 3か月未満

☐ 3か月以上6か月未満

☐ 6か月以上1年未満

☐ 1年以上2年未満

☐ 2年以上3年未満

☐ 3年以上5年未満

☐ 5年以上10年未満

☐ 10年以上

15. 直近の離職について、対象資格を用いた仕事を離れた理由を、すべて選択してください。*

- ☐ 妊娠・出産
- ☐ 育児
- ☐ 家族の介護・看護
- ☐ 自身の病気・けが・健康上の理由
- ☐ 配偶者・家族の転勤や転居
- ☐ 勤務時間・夜勤・休日等の勤務条件
- ☐ 業務量や心身の負担
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ ハラスメント
- ☐ 給与・処遇への不満
- ☐ キャリアアップ・進学・他資格取得
- ☐ 他職種・他業種への転職
- ☐ 勤務先の閉鎖・雇用契約終了等
- ☐ 定年
- ☐ その他

16. 対象資格を用いた仕事への復職を考えるきっかけとなったことを、すべて選択してください。*

- ☐ 子育て・介護等が落ち着いた
- ☐ 自身の健康状態が改善した
- ☐ 家計・収入の必要が生じた
- ☐ 資格・経験を生かしたいと思った
- ☐ 仕事へのやりがいや社会参加を求めた
- ☐ 家族・知人から勧められた
- ☐ 元の勤務先・以前の同僚から声をかけられた
- ☐ 求人・採用情報を見た
- ☐ 職能団体・行政・支援機関等から情報を得た
- ☐ 研修・職場体験に参加した
- ☐ 働きやすい勤務条件の職場が見つかった
- ☐ その他

17. 対象資格を用いた仕事に復職しようと具体的に決めてから、実際に就業するまでにどのくらいかかりましたか。*

- ☐ 1か月未満
- ☐ 1か月以上3か月未満
- ☐ 3か月以上6か月未満
- ☐ 6か月以上1年未満
- ☐ 1年以上2年未満
- ☐ 2年以上

18. 復職を検討してから実際に就業するまでの過程で、特に時間を要したと感じた手続・活動を、すべて選択してください。

※「特に時間を要したものはない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 求人・勤務先に関する情報収集
- ☐ 家族との調整
- ☐ 保育・介護サービス等の確保
- ☐ 職能団体・行政・支援機関等への相談
- ☐ 知識・技術の学び直し
- ☐ 復職研修・実技研修への参加
- ☐ 職場見学・職場体験
- ☐ 応募書類の準備
- ☐ 応募・面接
- ☐ 勤務時間・業務内容等の採用条件の調整
- ☐ 健康状態の確認・就業準備
- ☐ 資格・届出等の手続
- ☐ 特に時間を要したものはない
- ☐ その他

移動 [次へ](#)



復職時に実際に用いた手段

19. 直近の復職に当たり、求人の情報収集、相談、応募、就職先との連絡等に利用した手段を、すべて選択してください。

※「特定の手段は利用せず自分で探した」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ ハローワーク
- ☐ 民間の職業紹介・転職支援サービス
- ☐ 求人情報サイト・求人広告
- ☐ 職能団体・都道府県支部等
- ☐ 都道府県・市区町村等の復職支援窓口
- ☐ ナースセンター等の職種別の公的支援機関
- ☐ 元の勤務先・以前の同僚
- ☐ 家族・友人・知人の紹介
- ☐ 学校・養成所
- ☐ 研修・セミナー・職場体験
- ☐ 勤務先のウェブサイトへの直接応募
- ☐ 特定の手段は利用せず自分で探した
- ☐ その他

移動 [次へ](#)



復職時の困難と必要だった支援

20. 復職前に障壁となっていたこと、すべて選択してください。

※「特に障壁はなかった」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 知識・技術の低下
- ☐ 医療機器・業務手順の変化
- ☐ 患者・利用者への対応
- ☐ 多職種との連携
- ☐ 緊急時・想定外の状況への対応
- ☐ 体力・健康面
- ☐ 勤務時間
- ☐ 夜勤への適応
- ☐ 仕事と家庭生活との両立
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ 相談・指導を受けられる体制
- ☐ 希望する勤務条件の職場が見つかるか
- ☐ 業務量や責任の大きさ
- ☐ 特に障壁はなかった
- ☐ その他

21. 実際に復職した後に障壁となったことを、すべて選択してください。

※「特に障壁はなかった」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 知識・技術の低下
- ☐ 医療機器・業務手順の変化
- ☐ 患者・利用者への対応
- ☐ 多職種との連携
- ☐ 緊急時・想定外の状況への対応
- ☐ 体力・健康面
- ☐ 勤務時間
- ☐ 夜勤への適応
- ☐ 仕事と家庭生活との両立
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ 相談・指導を受けられる体制
- ☐ 希望する勤務条件ではなかった
- ☐ 業務量・責任が想定より大きかった
- ☐ 特に障壁はなかった
- ☐ その他

22. 復職前後に必要なだった、またはあればよかったと感じる研修・支援を、すべて選択してください。
※「特に必要な研修・支援はなかった」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 知識を更新する講義・教材
- ☐ 基本的な手技・機器操作の実技研修
- ☐ シミュレーション研修
- ☐ 職場見学・職場体験
- ☐ 段階的に業務へ戻る仕組み
- ☐ 勤務時間・勤務日数の配慮
- ☐ 相談窓口・個別相談
- ☐ 復職者同士の交流・ピアサポート
- ☐ 求人・勤務条件に関する情報提供
- ☐ 保育・介護サービス等との両立支援
- ☐ 特に必要な研修・支援はなかった
- ☐ その他

23. 復職先で受けた対応を、すべて選択してください。
※「特別な対応はなかった」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 復職者向けの研修
- ☐ 通常の新人研修への参加
- ☐ 指導担当者・相談相手の配置
- ☐ 業務内容を段階的に増やす配慮
- ☐ 勤務時間・勤務日数の配慮
- ☐ 夜勤・オンコール等の免除・段階的な開始
- ☐ 定期的な面談・振り返り
- ☐ 手順書・教材の提供
- ☐ 特別な対応はなかった
- ☐ その他

24. 復職前に利用した研修・職場体験と、その後の応募・就職状況を回答してください。*

- ☐ 研修・職場体験に参加し、その実施先へ就職した
- ☐ 研修・職場体験に参加し、別の勤務先へ就職した
- ☐ 研修・職場体験に参加したが、応募にはつながらなかった
- ☐ 研修・職場体験に参加したが、応募後に就職しなかった
- ☐ 研修・職場体験は利用していない

移動 [次へ](#)



現在の離職意向と就業継続

25. 現在の職場から離れることを考えていますか。 *

- ☐ 考えている
- ☐ 考えていない
- ☐ 現在就業していない

移動 [27. 現在の対象職種から離れることを考えていますか。](#)

移動 [27. 現在の対象職種から離れることを考えていますか。](#)

26. 現在の勤務先を辞めたいと考える理由を、全て選択してください。

※「具体的な理由はまだない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。 *

- ☐ 勤務時間・夜勤・休日等の勤務条件
- ☐ 業務量や心身の負担
- ☐ 給与・処遇への不満
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ ハラスメント
- ☐ 仕事内容・役割が希望と合わない
- ☐ 指導・教育・相談体制が不十分
- ☐ キャリアアップ・専門性向上の機会が少ない
- ☐ 仕事と育児・介護・家庭生活との両立が難しい
- ☐ 自身の病気・けが・健康上の理由
- ☐ 配偶者・家族の転勤や転居
- ☐ 進学・他資格取得
- ☐ 他職種・他業種への転職
- ☐ 定年・契約期間満了等
- ☐ 具体的な理由はまだない
- ☐ その他

27. 現在の対象職種から離れることを考えていますか。 *

- ☐ 考えている
- ☐ 考えていない
- ☐ 現在、対象職種として就業していない

移動 [30. 将来も対象職種の仕事を継続するために必要だと思う...](#)

移動 [8. 認定資格・専門資格とキャリアアップ](#)

28. 現在の対象職種を離れたいと考える理由を、すべて選択してください。

※「具体的な理由はまだない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 勤務時間・夜勤・休日等の勤務条件
- ☐ 業務量や心身の負担
- ☐ 給与・処遇への不満
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ ハラスメント
- ☐ 仕事内容・役割が希望と合わない
- ☐ 指導・教育・相談体制が不十分
- ☐ キャリアアップ・専門性向上の機会が少ない
- ☐ 仕事と育児・介護・家庭生活との両立が難しい
- ☐ 自身の病気・けが・健康上の理由
- ☐ 配偶者・家族の転勤や転居
- ☐ 進学・他資格取得
- ☐ 他職種・他業種への転職
- ☐ 定年・契約期間満了等
- ☐ 具体的な理由はまだない
- ☐ その他

29. 今後、対象職種の仕事を離れた場合、将来、同じ職種の仕事に戻る可能性はどの程度ありますか。*

- ☐ 戻る可能性は高い
- ☐ 条件が合えば戻る可能性がある
- ☐ 今のところ分からない
- ☐ 戻る可能性は低い
- ☐ 戻る可能性はない

30. 将来も対象職種の仕事を継続するために必要だと思うことを、すべて選択してください。

※「特に必要なことはない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 希望に合う勤務時間・勤務日数
- ☐ 夜勤・オンコール等への配慮
- ☐ 短時間勤務・柔軟な働き方
- ☐ 給与・処遇の改善
- ☐ 業務量・責任の調整
- ☐ 復職前の知識・技術の学び直し
- ☐ 実技研修・シミュレーション研修
- ☐ 職場見学・職場体験
- ☐ 段階的に業務へ戻る仕組み
- ☐ 指導担当者・相談相手の配置
- ☐ 求人・勤務条件に関する情報提供
- ☐ 保育・介護サービス等との両立支援
- ☐ 健康状態の改善・治療との両立支援
- ☐ 家族の理解・協力
- ☐ 特に必要なことはない
- ☐ その他

移動 [次へ](#)



認定資格・専門資格とキャリアアップ

31. 現在主に従事している職種に関する認定資格・専門資格の取得状況を選択してください。*

- | | |
|--|--|
| ☐ 取得している | 移動 32. 取得している認定資格・専門資格のうち、現在の業務... |
| ☐ 現在取得に向けて受講・申請中である | 移動 38. 認定資格・専門資格を取得した理由、または取得を目... |
| ☐ 取得を具体的に検討している | 移動 38. 認定資格・専門資格を取得した理由、または取得を目... |
| ☐ 関心はあるが具体的には検討していない | 移動 38. 認定資格・専門資格を取得した理由、または取得を目... |
| ☐ 取得しておらず、今のところ関心もない | 移動 39. 認定資格・専門資格を取得・更新するうえで障壁とな... |
| ☐ 対象となる資格があるか分からない | 移動 39. 認定資格・専門資格を取得・更新するうえで障壁とな... |

32. 取得している認定資格・専門資格のうち、現在の業務に最も関係する資格名を回答してください。*

33. その資格の認定主体を回答してください。*

34. その資格を取得した年を西暦4桁で回答してください。*

値は数値にする必要があります

35. 取得した認定資格・専門資格は、知識・技術の向上にどの程度役立ちましたか。*

- ☐ 非常に役立った
- ☐ ある程度役立った
- ☐ あまり役立たなかった
- ☐ まったく役立たなかった
- ☐ 取得後まだ判断できない

36. 認定資格・専門資格の取得によって、キャリアに生じた影響を、すべて選択してください。

※「特に影響はなかった」または「取得後まだ判断できない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 担当できる業務・役割が広がった
- ☐ より専門的・高度な業務を担当するようになった
- ☐ 院内・組織内で指導的な役割を担うようになった
- ☐ 配置・所属部署が変わった
- ☐ 昇進・昇格につながった
- ☐ 昇給（資格手当）につながった
- ☐ 転職・再就職に役立った
- ☐ 学会・研究・教育活動への参加が増えた
- ☐ 仕事への意欲・満足度が高まった
- ☐ 特に影響はなかった
- ☐ 取得後まだ判断できない
- ☐ その他

37. 認定資格・専門資格の取得は、勤務先でどのように処遇へ反映されていますか。すべて選択してください。

※「処遇には反映されていない」「勤務先に反映制度があるか分からない」または「現在就業していない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 基本給が高くなる
- ☐ 資格手当・専門手当が支給されている
- ☐ 賞与が高くなる
- ☐ 昇給が早くなる
- ☐ 昇進・昇格が早くなる／しやすくなる
- ☐ 役職・役割の付与がされやすくなる
- ☐ 配置・担当業務に活かされる
- ☐ 研修費・更新費等の支援がある
- ☐ 処遇には反映されていない
- ☐ 勤務先に反映制度があるか分からない
- ☐ 現在就業していない
- ☐ その他

38. 認定資格・専門資格を取得した理由、または取得を目指す・検討する理由を、すべて選択してください。
※「取得した、または取得を検討する具体的な理由はない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 専門的な知識・技術を高めたい
- ☐ 現在の業務の幅を広げたい
- ☐ より高度・専門的な業務を担当したい
- ☐ 患者・利用者への支援の質を高めたい
- ☐ キャリアアップ・昇進につなげたい
- ☐ 転職・再就職に役立てたい
- ☐ 給与・手当等の処遇向上を期待している
- ☐ 勤務先から取得を勧められた・求められた
- ☐ 職能団体・同僚等から勧められた
- ☐ 資格取得者とのネットワークを得たい
- ☐ 取得した、または取得を検討する具体的な理由はない
- ☐ その他

39. 認定資格・専門資格を取得・更新するうえで障壁となることを、すべて選択してください。
※「特に障壁はない」を選ぶ場合は、ほかの選択肢を選ばないでください。*

- ☐ 受講料・受験料・更新料等の費用負担
- ☐ 研修・講習に参加する時間の確保
- ☐ 勤務との日程調整
- ☐ 家事・育児・介護との両立
- ☐ 研修会場が遠い・移動負担が大きい
- ☐ 必要な症例・実務経験を確保しにくい
- ☐ 指導者・推薦者を確保しにくい
- ☐ 申請・更新手続が複雑
- ☐ 資格制度や取得方法に関する情報が不足している
- ☐ 勤務先の理解・支援が得にくい
- ☐ 取得しても業務や処遇への効果が見込みにくい
- ☐ 特に障壁はない
- ☐ その他

勤務環境と両立支援

40. 今後も対象職種の仕事を続けたいと思いますか。*

- ☐ 現在の勤務先で長く続けたい
- ☐ 勤務先を変えても対象職種の仕事を続けたい
- ☐ 当面は続けたいが、将来は分からない
- ☐ 対象職種の仕事を離れることを考えている
- ☐ 現在は対象職種として就業していない

41. 現在の主な勤務先における、1か月当たりの平均的な時間外労働時間について、項目ごとに回答してください。

※サービス残業とは、実際に働いたものの、時間外労働として申告していない、または賃金が支払われていない時間を指します。*

	なし	1時間以上5 時間未満	5時間以上10 時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上 40時間未満	40時間以上	分からない
時間外労働の合 計時間	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
うち、サービス残業 の時間	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

42. 現在の主な勤務先における、1か月当たりの夜勤・宿直・オンコールの合計回数を選択してください。*

- ☐ なし
- ☐ 1～3回
- ☐ 4～7回
- ☐ 8回以上
- ☐ 月によって大きく異なる
- ☐ 分からない

43. 現在の勤務先で、過去1年間にハラスメントを受けたり、他の職員が受けたのを見聞したりしたことがありますか。

- ※セクハラ：性的な言動により、働く人が不利益や不快な思いをすること
※パワーハラ：職場での立場や権限を利用した、行き過ぎた言動や嫌がらせ
※カスタハラ：患者・利用者・顧客等からの著しい迷惑行為や不当な要求
※マタハラ：妊娠・出産・育児等を理由とした不利益な扱いや嫌がらせ *

	自分が受けた	他の職員が受けたの を見聞した	自分が受けたことも、 他の職員が受けたの を見聞したこともある	経験・見聞きはない	回答しない
セクシュアルハラスメント	☐	☐	☐	☐	☐
パワーハラスメント	☐	☐	☐	☐	☐
カスタマーハラスメント	☐	☐	☐	☐	☐
マタニティハラスメント	☐	☐	☐	☐	☐

44. ハラスメントに関して行った相談や、職場で行われた対応を、すべて選択してください。

※「相談しなかった」または「該当しない」を選ぶ場合は、相談先に関する選択肢を選ばないでください。 *

- ☐ 上司・管理者へ相談した
- ☐ 勤務先の相談窓口へ相談した
- ☐ 同僚へ相談した
- ☐ 職能団体・労働組合・外部の相談機関等へ相談した
- ☐ 配置が調整された
- ☐ 勤務時間または業務内容が調整された
- ☐ 事実確認や調査が行われた
- ☐ 注意・指導・処分等が行われた
- ☐ 相談したが、十分な対応はなかった
- ☐ 相談しなかった
- ☐ 該当しない（ハラスメントを受けた経験や見聞した経験はない）
- ☐ その他

45. 育児、介護、治療等と仕事を両立するための制度について、制度ごとの利用状況を回答してください。*

	現在利用している	過去に利用したことがある	利用したいが利用していない	利用する必要がない	制度があるか分からない
短時間勤務	☐	☐	☐	☐	☐
勤務時間変更・時差勤務	☐	☐	☐	☐	☐
夜勤免除	☐	☐	☐	☐	☐
休暇・休業	☐	☐	☐	☐	☐
在宅勤務	☐	☐	☐	☐	☐
業務内容調整	☐	☐	☐	☐	☐

46. 前問において「利用したいが利用していない」を選択した制度について、利用していない理由を選択してください。*

- ☐ 勤務先に制度がない
- ☐ 対象要件に該当しない
- ☐ 人員不足等により、業務上の利用が難しい
- ☐ 周囲の職員への負担が気になる
- ☐ 上司や職場の理解を得にくい
- ☐ 利用すると収入が減る
- ☐ 利用できる制度を知らない
- ☐ 申請方法が分からない
- ☐ 該当しない（前問において「利用したいが利用していない」を選択していない）
- ☐ その他

移動 [次へ](#)

